

学校だより(ねあがい)

No.1 平成29年6月16日発行 校長 石田 恵一

新しいスタートをふりかえって

4月に赴任した校長の石田です。根上中学の子ども達は明るく元気です。学校行事や部活動にも一生懸命取り組む姿が見られます。勉強や学校行事、部活動など、どんなこともそうですが、一生懸命頑張るから大変なんだと思います。でもやり遂げた時の感動や達成感は、苦しんだ人にしかわからない、人と心を合わせて頑張った人にしかわからない素晴らしい世界だと思っています。子ども達には、大きな感動と達成感を積み重ね、根上中学校でよかったと胸を張って卒業してほしいと思っています。また、職員は熱心で、時間を忘れて子ども達のために全力で頑張っています。全職員が子ども達のために力を尽くせる環境を整えることが私の課題の一つだと痛感しています。素晴らしい子ども達や先生達に囲まれて、根上中学校で新しいスタートを迎えることができたことに心から感謝し、学校経営に全力を尽くすことをお約束します。

平成29年度 根上中学校の教育はどのようにすすめています

1 どのような学校づくりを目指すのか

全職員が心を合わせ、一丸となって教育活動に全力で取り組むことにより、子ども達の無限に近い可能性を開花させていく。そんな学校づくりを目指して学校経営を行います。大人の本気の思いや願いが子ども達を成長させる原動力になると考えています。

2 どんな子ども達に育てほしいのか

みんなが毎日元気に楽しく学校生活を送っている。一旦授業がはじまれば集中して授業にのぞみ、清掃では床と心を黙々と磨き、学校行事や部活動にも高い目標を持ち全力で取り組む子ども達に育てほしいと思っています。そして、すべての子ども達が、大きな感動や達成感を積み重ねながら、人として大きく成長してほしいと考えています。

3 実現に向けて大切にしたいこと

(1)熱意と誠意

熱意が人を動かすと思っています。ただ、熱意は時に空回りしたり、独りよがりになってしまうこともあります。熱意に加えて、子どもの側に立って考える、保護者の側に立って考える誠意を大切にして教育活動にあたります。

(2)教育は人ない

子どもと先生の信頼関係なくして教育の成果を挙げることは難しいと思います。「あの先生のクラスになりたい」「あの先生の授業をうけたい」という自分なのかを常に問い続け、授業力に加え人間力の向上を目指して校内研修を充実させます。子ども達の成長を心から願う、あたたかく厳しい教師集団でありたいと考えています。

(3)重点化と組織的な対応

あれもやろう、これもやろうではなく、子ども達の実態を見定めて、学校にとって、今、最も大切にしたいことを重点目標とし、計画的（思いつきでなく）、組織的（みんなで）、意図的（ねらいを明確にして）に取り組めます。

【裏面に続く】

4 年度当初の重点的な取組

今年度のスタートにあたって、全職員で共通理解を図って、授業のルール・マナーとして次の3点を徹底するように取り組んでいます。

(1) チャイムで授業をはじめる (2) 正しい姿勢で授業を受ける。

(3) 授業中は、先生や友達の話をきちんと聞く。

不思議ですが、これらのことが当たり前にできるようになった時、学力は必ず向上します。子ども達に、こちらの思いや願いを十分伝えた上で、まず、授業のルール・マナーを確立することに重点的に取り組みます。



激励会で子ども達に伝えたこと

いよいよ加賀地区大会です。部活動は、達成感や感動も多い反面、苦しい場面も多いと思います。成績が伸び並んだり練習が辛く感じたり、多くの子が苦しい時期を乗り越え大会を迎えると思います。だからこそ、特に3年生には悔いのない、最高の終わり方に迫ってほしいと思います。激励会で子ども達に伝えたことを掲載します。

いよいよ加賀地区大会です。どうすれば力を出し切れるのか？今から技術や体力を飛躍的に高めることは難しいかもしれませんが、力を出し切るために心を高めることは可能です。3つのことを意識してください。

まず、これまでがんばってきたという自信です。この日のためにやるだけのことはやってきたはずです。もちろん、やり残したなと感じることもあるかもしれないけど、自分なりに最善を尽くしたはずです。「絶対勝つ」「力を出し切る」という強い気持ちで大会に臨んでください。実力が近い場合は最後は気持ちの勝負になります。

次に、苦しい練習を乗り越えてきたという想いです。全てが順調にきたわけではないと思います。練習が辛く感じたり、うまくいかないことや結果がでずに伸び悩んだこともあったと思います。多分、みんな、苦しいことや辛いことを乗り越えて、最後の試合を迎えるはずです。でも、苦しい日々を乗り越えてきたという想いが、必ずプラスの力になると思います。

最後に支えてくれた人への感謝の心です。一人で強くなったわけではないと思います。指導していただいた先生方、家の人、そして何よりも、共に苦勞を重ね、励まし合い支え合ってきた大切な仲間への感謝の気持ちを忘れないでください。

最後に3つのことを伝えます。

まず一つ、強いチーム、強い選手もいつかは負ける瞬間が必ずきます。でも決してあきらめないで最後のその瞬間まで全力を尽くしてください。力を出し尽くすことが大切です。根上の子が、どの学校より最後まで一生懸命頑張っていた、どの学校より一所懸命応援していた・・・そう言われたいです。

次に、大会に出れない人も多いと思います。残念だろうけど、自分ができることは何かをこの3日間、真剣に考えて大会に臨んでください。演劇と同じです。華やかなステージに立ちライトを浴びるのは一部の人かもしれません。でもスタッフ全員が力と心をあわせて真剣に取り組まないと素晴らしい演劇にはなりません。皆さんはそのことは十分わかっていると思います。試合に出られない子の頑張りが結果を左右します。

最後に、絶対勝つという強い気持を持つことは大切です。ただ、これまで苦勞してきたのは皆さんです。当日は皆さん一人一人が主役です。競技や演奏が始まったら、ほどよい緊張感の中で、どうぞ心から競技や演奏を楽しんでください。自分と仲間を信じて持てる力を出し切り、やり遂げる達成感や感動を感じ取ってください。いつも言いますが、やった人にしか分からない、苦しんだ人にしか分からない素晴らしい世界です。ここにいるみなさん全員が、あの感動、あの達成感を感じて、胸を張って学校に帰って来ててください。一生心に残る素晴らしい大会になることを期待します。